

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2002-117195 (P2002-117195A)

【公開日】平成 14 年 4 月 19 日 (2002.4.19)

【出願番号】特願 2000-306056 (P2000-306056)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 6 2 A

G 0 6 F 3/00 6 5 1 A

G 0 6 F 17/30 1 7 0 Z

G 0 6 F 17/30 3 1 0 B

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 30 日 (2007.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】スケジュール管理装置，及びスケジュール管理方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 スケジュールごとに複数の項目データからなるスケジュール情報を記憶するスケジュール記憶手段と，

前記項目データを入力するためのスケジュール入力手段と，

前記スケジュール入力手段を用いて入力された前記項目データに基づいて，前記スケジュール記憶手段に記憶された前記スケジュール情報を検索するスケジュール検索手段と，

前記スケジュール検索手段により検索された前記スケジュール情報に含まれる前記項目データから，前記スケジュール入力手段を用いて入力された前記項目データとは異なる項目について，前記項目データの入力候補のリストを生成する入力候補生成手段と，

前記入力候補生成手段により生成された前記入力候補のリストを前記スケジュール入力手段によるデータ入力の際に表示する表示手段と，

を具備してなるスケジュール管理装置。

【請求項 2】 前記スケジュール検索手段が，前記スケジュール記憶手段に記憶された前記スケジュール情報のうちから，前記スケジュール入力手段を用いて入力された前記項目データと同じ項目について同一又は類似の前記項目データを含む前記スケジュール情報を検索してなる請求項 1 記載のスケジュール管理装置。

【請求項 3】 前記表示手段が，前記入力候補のリストに含まれる各項目データの候補を，前記スケジュール検索手段により検索された前記スケジュール情報のうち前記各項目データの候補を含むものの数に従った優先順位で表示してなる請求項 1 記載の

ケジュール管理装置。

【請求項 4】 前記入力候補生成手段が、自装置に接続された他のスケジュール管理装置によって検索された前記スケジュール情報も前記入力候補のリストを生成するのに用いてなる請求項 1 記載のスケジュール管理装置。

【請求項 5】 スケジュールの項目についての項目データを入力するスケジュール入力ステップと、

前記スケジュール入力ステップにより入力された前記項目データに基づいて、スケジュールごとに複数の前記項目データからなるスケジュール情報を記憶するスケジュール記憶手段から前記スケジュール情報を検索するスケジュール検索ステップと、

前記スケジュール検索ステップにより検索された前記スケジュール情報に含まれる前記項目データから、前記スケジュール入力ステップにより入力された前記項目データとは異なる項目について、前記項目データの入力候補のリストを生成する入力候補生成ステップと、

前記入力候補生成ステップにより生成された前記入力候補のリストを前記スケジュール入力ステップによるデータ入力の際に表示手段に表示させる表示ステップと、

を実行してなるスケジュール管理方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、個人やグループのスケジュールを管理するのに用いられるスケジュール管理装置、及びスケジュール管理方法に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、登録保存すべきテンプレート（の種類）が多い場合には、そのテンプレートを作成するだけでも手間がかかる。また、不要なテンプレートを削除したり、テンプレートの内容に変更を加えるなど、テンプレートを有用な状態に保つには、使用者がテンプレートのメンテナンスを十分に行う必要がある。さらに、テンプレートを選択する際には、各テンプレートについてそれに含まれる複数項目のデータの整合性をユーザ自身が確認し比較する必要があるため、テンプレートの種類が多くなると、適切なテンプレートを選択することも大変になる。

このため、ユーザがスケジュールを入力するのに必要な総合的な手間（実際にデータを入力する際の手間だけでなく、そのために準備を行ったりメンテナンスを行ったりする手間などを含む）を十分に軽減できない場合があった。

本発明は、このような従来の技術における課題を鑑みてなされたものであり、ユーザがスケジュールを入力するのに必要な総合的な手間を十分に軽減することができるスケジュール管理装置、及びスケジュール管理方法を提供することを目的とするものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

上述の目的を達成するための発明の一つは、スケジュールごとに複数の項目データからなるスケジュール情報を記憶するスケジュール記憶手段と、前記項目データを入力するためのスケジュール入力手段と、前記スケジュール入力手段を用いて入力された前記項目データに基づいて、前記スケジュール記憶手段に記憶された前記スケジュール情報を検索するスケジュール検索手段と、前記スケジュール検索手段により検索された前記スケジュール情報に含まれる前記項目データから、前記スケジュール入力手段を用いて入力された前記項目データとは異なる項目について、前記項目データの入力候補のリストを生成する入力候補生成手段と、前記入力候補生成手段により生成された前記入力候補のリストを前記スケジュール入力手段によるデータ入力の際に表示する表示手段と、を具備してなるスケジュール管理装置として構成されている。

前記スケジュール管理装置では、複数の項目に関する項目データを含む、あるスケジュール情報の各項目データを入力するにあたって、既に入力された前記項目データに基づいて、過去に記憶（登録）された前記スケジュール情報が検索される。そして、検索された前記スケジュール情報に含まれる前記項目データから、前記入力された前記項目データとは異なる項目について、前記項目データの入力候補のリストが生成され、生成された前記入力候補のリストが前記スケジュール入力手段によるデータ入力の際に表示される。

このように、本発明に係るスケジュール管理装置では、あるスケジュール情報のある項目データを入力すると、入力された項目データに従って検索された過去のスケジュール情報から、これから入力される項目について入力候補のリストが自動的に生成及び表示されるため、テンプレートを用いる場合のように、その作成やメンテナンスに多くの手間をかける必要はなく、また各項目の整合性を確認しながらユーザがテンプレートを選択する必要もなく、ユーザがスケジュール情報を入力するの必要な総合的な手間を大きく軽減することができる。その結果、ユーザは極めて簡単にスケジュール情報を入力することが可能となる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

前記スケジュール管理装置において、前記入力候補のリストを生成するために利用されるスケジュール情報（前記スケジュール検索手段により検索されるスケジュール情報）は、例えば前記スケジュール入力手段を用いて入力された前記項目データと同じ項目について同一又は類似の前記項目データを含む前記スケジュール情報である。

例えば定期的に行われるスケジュールなどの場合には、各スケジュールにおいて件名、開始時刻や終了時刻、場所などの項目についてのデータ（項目データ）が変わらない場合も多いので、同じ項目についてデータが同一又は類似のスケジュール情報を検索すれば、これから入力される項目について入力される可能性の高い入力候補のリストを生成することができる。また、類似の範囲まで検索することによってより柔軟に入力候補を生成することが可能である。

また、前記スケジュール管理装置において、例えば前記表示手段が、前記入力候補のリストに含まれる各項目データの入力候補を、前記スケジュール検索手段により検索された前記スケジュール情報のうち前記各項目データの入力候補を含むものの数に従った優先順位で表示することが考えられる。

この場合、前記入力候補のリストに含まれる前記入力候補が非常に多数あったとしても、ユーザが入力する可能性のより高い入力候補を、ユーザが容易に確認することができる。

また、前記スケジュール管理装置において、前記入力候補生成手段が、自装置に接続さ

れた他のスケジュール管理装置によって検索された前記スケジュール情報も前記入力候補のリストを生成するのに用いる場合がある。

この場合、ユーザにさらに多様で適当な入力候補を提供することが可能となる。各スケジュール管理装置を個人的に用いていれば、例えば職場が同じ他の人のスケジュール情報も入力候補を生成するのに利用されることになる。定期的に行われているミーティングの、途中のミーティングからユーザが参加するような場合、あるユーザにとっては、はじめて当該ミーティングについてのデータを入力することになるから、適当な入力候補のリストが生成されない可能性もあるが、既にそのミーティングに参加しているユーザのスケジュール情報を利用することができれば、適当な入力候補のリストが得られ、よりデータの入力が簡単になる。

そして、上述の目的を達成するためのもう一つの発明は、前記スケジュール管理装置が備える各手段が行う処理（ステップ）を実行するスケジュール管理方法である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

【発明の効果】

以上説明した通り、本発明によれば、あるスケジュール情報のある項目のスケジュールデータを入力すると、入力されたスケジュールデータに従って検索された過去のスケジュール情報から入力候補のリストが自動的に生成され、これから入力される項目について前記入力候補のリストが選択メニュー等として表示されるため、テンプレートを用いる場合のように、その作成やメンテナンスに多くの手間をかける必要はなく、また各項目の整合性を確認しながらユーザがテンプレートを選択する必要もなく、ユーザがスケジュール情報を入力するの必要な総合的な手間を大きく軽減することができる。その結果、ユーザは極めて簡単にスケジュール情報を入力することが可能となる。

さらに、前記スケジュール管理装置において、優先順位の順に入力候補を表示することによって、入力する可能性のより高い入力候補を、ユーザが容易に確認することができる。

また、前記スケジュール管理装置において、入力されたスケジュールデータの類似の範囲まで検索を行ったり、他のスケジュール管理装置において検索されたスケジュール情報を用いることによって、意味の近い言葉や他の人のスケジュールに基づいた入力候補を生成することができ、ユーザにさらに多様で適当な入力候補を柔軟に提供することができる。